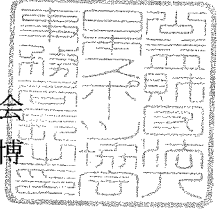


第 30 回 JSP0 国体発第 204 号
平成 31 年 3 月 19 日

加盟都道府県体育・スポーツ協会
中央競技団体
事務局長 様

公益財団法人日本スポーツ協会
事務局長 河内 由博



国民体育大会関係決定事項等について（通知）

平素より当協会スポーツ推進事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る平成 31 年 3 月 1 日開催の平成 30 年度第 4 回国民体育大会委員会において、下記の件について決定しましたので通知いたします。

なお、資料につきましては、日本スポーツ協会 HP にて PDF 版を公開いたします。

以下のページからダウンロードの上、ご参照ください。

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/1067/Default.aspx>

【決定事項】

1. 第 74 回大会（茨城県）関係について

(1) 実施要項総則の一部変更（文化プログラム）…………… 資料No.1-1

- 実施要項総則の一部変更及び文化プログラムの追加（3 件）と取り止め（2 件）について、提案のとおり承認された。

※ 文化プログラムは 346 事業を実施。

(2) 競技別実施要項の一部変更…………… 資料No.1-2

- 「平成 30 年度第 3 回国体委員会」（平成 30 年 12 月 13 日開催）における承認時に調整中だった内容の決定及び一部修正について、提案のとおり承認された。

<主な変更点>

【全競技共通】

- ・平成 31 年 4 月末竣工予定の新会館「Japan Sport Olympic Square」の住所・連絡先を一律に修正。

【水泳（水球）】

- ・「4 競技上の規程及び方法」の競技時間、競技方法、参加資格を変更。

【ホッケー】

- ・「4 競技上の規程及び方法」の(2)における試合時間について、「準々決勝までは、得点・ペナルティーコーナーのときは時間の停止を行わずノンストップ方式とする」を削除。

【ボクシング】

- ・「10 参加上の注意」の(8)におけるセカンドに関する注意事項として、日本ボクシング連盟公認セカンド資格の保有についての記載内容を変更。

【バスケットボール】

- ・「6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準」の(6)における外国籍選手の参加について、2019年2月の国際ルールの変更に伴い、18歳未満の若年層選手の国際移籍に関する申請手続きを追記。

【軟式野球】

- ・「4 競技上の規程及び方法」の(7)に規定されるタイブレーク方式の導入について、「試合開始後3時間30分経過した場合」を「試合開始後3時間経過した場合」に変更。

【カヌー】

- ・「4 競技上の規程及び方法」の(4)アに記載のカヌースラロームコースの距離について、2019年4月1日からの国際ルールの変更に伴い「200m以上400m以内」から「150m以上400m以内」に変更。

【空手道】

- ・「5 予選方法」の(3)の形競技のブロック大会区分及び代表都道府県数について、代表都道府県数(代表ブロック)を決定。

【ゴルフ】

- ・「4 競技上の規程及び方法」の(7)から(11)について、競技規則の変更に伴い記載順序、文言を整理。

(3) 競技会場の変更等 資料No.1-3

- バスケットボール競技(成年男子)における「日立市池の川さくらアリーナ」の実施日の変更について、提案のとおり承認された。

(4) 諸会議日程 資料No.1-4

(5) 中央競技役員所要経費基準について 資料No.1-5

- 提案のとおり承認された。

2. 第75回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会(青森県)関係について

(1) ポスターの図案 資料No.2

- 提案のとおり承認された。

3. 第75回本大会(鹿児島県)関係について

(1) ポスターの図案 資料No.3-1

- 提案のとおり承認された。

(2) 国民体育大会記録情報処理システムの指定について 資料No.3-2

- 第75回大会(鹿児島県)におけるシステムについて、期限までに申請のあった共同通信社の国体記録処理システムを指定することが、提案のとおり承認された。

4. 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」対象競技の

第78回以降の実施規模について 資料No.4

- 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」対象競技(8競技9種目)について、「平成30年度第1回国体委員会」(平成30年6月14日開催)において、実行計画終了後(第78回大会以降)も実施することが決定していたが、競技全体の実施規模は、組合せの公平性や、

選手の安全確保等の観点から、一定数の参加チーム数、1チームあたりの人数を確保する必要があるため、本実行計画導入により増加した人員の10%までの増員を上限とする参加人員にて調整し、資料記載の参加人員とすることが、提案のとおり承認された。

5. 「スポーツ推進方策2018」の下期評価について…………… 資料No.5

- 「スポーツ推進方策2018」における国体関係の施策の下期評価について、提案のとおり承認された。

※ 概ね当初の計画通りに実施しているが、以下の3項目については、進捗が遅れており、2019年度に協議・調整を進める。

- ・ 「加盟団体が行うアスリートの発掘・育成・強化を通じて、広く社会に貢献できる人材が育成されるよう支援する」
- ・ 「ユニフォーム規程を改定し、ユニフォーム協賛を導入することにより、都道府県体育（スポーツ）協会等関係機関・団体における財源確保に貢献する」
- ・ 「冬季競技会を開催可能な施設を有している都道府県の協力を得て、開催県のローテーション化の確立を図る等、安定的な開催に向けて取り組む」

《報告事項》

1. 国民体育大会委員会について

(1) 委員の編成…………… 資料No.6

- 2名の辞任（福井県選出委員）について報告された。

2. 第74回冬季大会（北海道）の終了について…………… 資料No.7

- 資料のとおり報告された。

3. 第76回本大会（三重県）について

(1) 競技会場の名称変更…………… 資料No.8

- 四日市市における各会場名が変更することが、資料のとおり報告された。

4. 第77回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催地について…………… 資料No.9

- 第77回冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催地が栃木県となることが、資料のとおり報告された。

5. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクトについて…………… 資料No.10

- 昨年10月末に検証が終了した1期生（オリンピック競技：37名／パラリンピック競技：12名）の成果と平成30年度に発掘した2期生の選考状況について、資料のとおり報告された。

6. 事業評価について…………… 資料No.11

- 国民体育大会委員会が所管する事業の2018年度の自己評価、2019年度の目標設定について、資料のとおり報告された。

7. その他

(1) 第 75 回冬季大会スキー競技会関係..... 資料No.12

- 同大会の HP の開設について、資料のとおり報告された。

(2) 平成 31 年度国民体育大会委員会等開催日程..... 資料No.13

- 資料のとおり報告された。

※ 会議室の都合により、「第 1 回国体競技運営部会」及び「第 5 回国体検討小委員会」を、国民体育大会委員会実施時点（3 月 1 日付）から、資料記載の期日に変更。